

超硬、再生原料率10%目標

富士ダイス、中国規制受け

富士ダイスは、超硬製品製造でのリサイクル原料の使用比率を10%とする目標を掲げる。中国の輸出規制強化でタンクステンの需

給が逼迫。価格も過去最高値水準まで高騰している。昨年立ち上げた超硬耐摩耗工具・金型のリサイクル事業で、超硬スクラップの

回収活動を本格化。2026年度はリサイクルスキームの確立に注力する。代替材の開発や調達先の複線化、M&A（企業の合併・買

収）なども検討中だ。調達環境の変化に対応し、耐摩耗工具と金型の安定供給を図る。昨年より超硬リサイクルを開始した。当初

はモデル地域を定めて超硬スクラップを回収していたが、今年に入り中国から日本へのタンクステン品目の輸出が絞られ、調達環境が悪化。原料確保が急務となり、回収の対象地域を全国に拡大した。タンクステンの需給逼迫により、銅タンクステン合金の受注を一時的に見合わせているとも明らかにした。主力の超硬合金製工具・

金型はほぼ計画通りの生産している。販売価格への転嫁を含め、原料の供給懸念

に対応する。タンクステン・コバルトの使用量を削減・不使用とした合金販売で協力を発

表しているダイジェット工業との連携も急ぐ考え。代替材の認知度向上を図る。